

ENGAWA

《特集》

共感を呼ぶ情報発信をしよう！



●表紙の言葉

『NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ』は、子育て世代が災害時に必要な物資は何かを調査し、いざという時必要な人に届くように「つながる支援バックプロジェクト」に取り組んできました。

熊本地震の際には、今まで構築してきたネットワークをフル活用し、短期間でまとまった寄付金を集めることに成功しています。日頃から共感を得るための情報発信と、ネットワークの構築についてお話を伺いました。

CONTENTS

- 2-4 | 特集
共感を呼ぶ情報発信をしよう！
- 5 | NPO関連ニュース
- 6 | 市民協働センターからのお知らせ

ENGAWA 2017年1月発行

発行／浜松市市民協働センター
〒430-0929

浜松市中区中央1丁目13-3

TEL: 053-457-2616

開館: 9:00～21:30(年末年始除く)

仮認定NPO法人はままつ子育てネットワーク

ぴっぴさんに 行ってきました！



こんなことをしています！

- ✿ 子育て世代への情報収集発信事業(「浜松市子育て情報サイトぴっぴ」の運営等)
- ✿ 子育てに関わる方への講座及び研修事業
- ✿ 子育て世代へのアンケートの実施などの調査や研究
- ✿ ワークライフバランス等男女共同参画の推進
- ✿ 子育て世代の悩み・相談窓口を紹介する相談事業

など、まさに子育て世代の強い味方となるNPOです！

『仮認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ』は、浜松市および周辺地域の子育てをサポートするNPO法人です。子育てを様々な切り口からサポート・推進することで、子育て世代のネットワークをつくり、安心して子育てが出来る地域づくりに貢献しています。

今回はぴっぴさんにお邪魔して、活動についてのお話を伺ってきました。

Q. 設立はいつですか？

A. 2004年に任意団体として設立し、2006年に法人化しました。2009年からは浜松市の指定管理を受けて、浜松市子育て情報センターを運営しています。

Q. 主要事業は何ですか？

A. 主に子育て世代の中間支援をメインとしていて、情報を通じてのネットワーク作りに力を入れています。

Q. 設立時の苦労は？

A. 最初は1年間の委託業務の予定でしたが、その年に運よく日経地域情報化大賞2006で日本経済新聞社大賞を受賞することができ、業務の幅が広がりました。これは女性団体が初めて受賞したもので、官民協働でネットワークづくりに取組んだことが評価されたようです。

Q. どんな方が利用していますか？

A. 来館されるのは貸館の利用者、ファミリーサポートの利用者などです。あとは子育てに関わる様々なワークショップを行っているので、協力してくれる方や参加者とはネットワークがあります。

Q. ホームページが非常に見やすいですが、どのように更新していますか？

A. 掲載内容についてはWeb担当者が年間計画を作って基本それに従い掲載を行っています。Web会議は月に一度行い、アクセス数や事業の進捗を見ながら、必要な情報を取り入れるようにしています。

Q. 防災教育にも力を入れているようですが『つながる支援パック』とは何ですか？

A. 東日本大震災で、乳幼児家庭など要支援者に支援物資が届かなかったという教訓から、被災後、乳幼児家庭が必要と考えられる物資をバッグにひとまとめにして渡そうと考えたのが支援パックです。被災地を回りながらヒアリングをして考案されました。バッグには「こどもがいます」「アレルギーがあります」と周囲の人々に知ってもらい、配慮をお願いするためのマークが大きくついています。

つながる支援バックプロジェクトとは・・・？

「つながる支援バックプロジェクト」は、災害時の乳児家庭に必要な支援物資を「子どもがいます」「アレルギーがあります」のロゴ入りのバックにまとめて入れて、支援が必要な人に届く仕組みを考えるプロジェクトです。災害時に乳幼児のいる家庭が困らないように沢山の調査をし、バックに何を入れるか内容が検討されていました。

必要な10品目を選定し、やっと形になってきた矢先に、熊本地震が防災。すぐに支援バックを送りたくても、手元には試作品のたった2セットしかなかったそうです。では、どのようにして被災地にバックを届けたのでしょうか。



10日で50万円を集めることに・・・

つながる支援バックの「子どもがいます」「アレルギーがあります」、それぞれ50セットずつ送るためには資金が必要でした。街頭募金をする人手も時間もなく、浜松市の業務ではないので『浜松市子育て情報サイトぴっぴ』で呼びかけることもできなかったそうです。

そこで、SNSやFacebook、Twitterで知った多くの乳幼児を連れたママやパパが直に子育て情報センターにお金をもってきてくれました。結果として、10日間で50万円もの資金が集まりました。



なぜ集めることができたのか？

目的がはっきりしていたからだと理事長の原田さんは言います。『以前に募金箱に寄付したけれど何に使われているか分からなかった』というお話をされた方や、『目的がよく分かるので家族で相談してここにしよう決めました。』と言ってくれた方もいたそうです。

たくさんの方が寄付をしたいと考えていても、それが本当に正しく有効に使われるかというのは誰もが不安になるところ。そのような見えにくい部分をクリアにし、日頃から信頼関係のある方々とのネットワークの活用が短時間での目標達成につながりました。



取材を終えて・・・

ぴっぴさんにお話を伺い、ネットワークの強さがNPOとしての強さでもあったと感じました。活動をしていく上でも、寄付金を集める手段としてもホームページは欠かせない時代です。

実際ぴっぴさんのホームページを見て感じたことは・・・

- 最新の情報が掲載されている
- 配置が整列していて見やすい
- 必要な情報をすぐに探せる
- 難しい表現がない

など

NPO活動で何をしようかと策を練っているみなさんは、是非ぴっぴさんのサイトをチェックしてみてくださいね！



ぴっぴさんのサイト <http://npo.hamamatsu-pippi.net/>

特集 共感を呼ぶ情報発信をしよう！

数字で読み解く 寄付・仲間集めのヒント

内閣府が実施した『社会意識に関する世論調査』によると、3人に2人は「社会の一員として、何か社会のために役立ちたい」と思っています。また、(特非)ファンドレイジング協会が発行している『寄付白書2015』によると、2014年は15歳以上人口の43.6%が寄付を行っています。社会課題の解決のために、ボランティアをしたい、寄付をしたいなど、社会のために何かしたいという多くの市民に社会参加の機会を提供していくことも、NPOに期待される役割の一つです。

社会貢献意識

65%

「社会の一員として、何か社会のために役立ちたい」と思っている人の割合。※1

59%

ボランティア活動に関心がある人の割合。※2

社会のために役立ちたいと考える人は、**3人に2人！**

一方で、**時間、経済的な理由、情報の少なさ**がボランティア活動への参加の妨げになっています。



ボランティア活動参加の壁

※小数点以下切捨て

- | | | |
|----|--------------------------------|-----|
| 1位 | 参加する時間がない | 52% |
| 2位 | 参加する際の経費(交通費等)があり
経済的負担が大きい | 29% |
| 3位 | 活動を行いたい、十分な情報がない | 23% |

(参照) 内閣府 平成27年度「特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査」上位3回答

(参照) ※1 内閣府 世論調査報告書「社会意識に関する世論調査」平成28年2月調査
※2 内閣府「特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査」平成27年度

市民主体の取り組みへの期待と寄付意識

91%

社会のニーズや課題に対して、市民の自主的な取り組みが大切と考えている人の割合。

23%

NPO法人に寄付したいと思っている人の割合。

9割の人々が市民主体の取り組みの重要性を感じています。**団体のミッション、寄付金の使途・効果**を分かりやすく伝えることが寄附を集めるカギ！



NPO法人に寄付する際に重視する点

※小数点以下切捨て

- | | | |
|----|-----------------|-----|
| 1位 | 目的や活動内容が共感できる | 69% |
| 2位 | 寄附金が有効に使ってもらえる | 30% |
| 3位 | 活動の成果をあげている | 23% |
| 4位 | 信頼できる役員やスタッフがいる | 27% |

(参照) 内閣府「NPO法人に関する世論調査」平成25年度 上位4回答

(参照) 内閣府「NPO法人に関する世論調査」平成25年度

発信力を高め、社会を動かす力に！

個々のNPOが発信力を付け、市民の社会参加を促し、積極的に連携していくことで、一つの団体では対応が難しい課題を解決する大きな力につながっていくのではないのでしょうか。インターネットの普及により誰でも無料で簡単に情報を発信できる今、ぜひ積極的な情報発信を心掛けてみませんか？市民協働センターでも、情報発信に関する悩みや相談を随時受付けております。お気軽にご利用ください！

CHECK! ～社会が求める情報って？～



活動が忙しいと、事業実施までの情報発信で終わってしまうことも…

求める情報とのギャップ

団体の基本情報

- ・社会課題
- ・団体の理念、目的
- ・事業内容

仲間・協力者の募集

- ・参加者、ボランティア
- ・寄付、会員

事業の実施・報告

- ・事業や活動の様子
- ・寄付金の使途

結果・成果の報告

- ・課題がどう解決した／しなかったか
- ・今後の対応

理念や活動内容、寄付金や会費の使途だけでなく、**事業の結果・成果**を知りたいと思っている人も少なくありません。



NPO関連 ニュース

市民活動に関わる情報や知っていただきたい注目の話題などを紹介します。

センターからの お知らせ

NPO向け無料相談会をご活用ください！

浜松市市民協働センターでは、市民活動に取り組む皆さまの活動を応援するため、専門家による無料相談会を定期開催しています。日頃の活動の疑問や悩みなどを解決するきっかけとして、ぜひご活用ください。

定期相談会以外にも、センターでは皆さまからの相談を随時受付けております。NPO法人設立・運営・CSRに関することなど、お気軽にご相談ください！



日本政策金融公庫による ソーシャルビジネス支援(融資)相談会

NPOでも融資を受けることができ、借入金の下限はありません。融資で事業を拡大したい！ソーシャルビジネスをしたい！と考えている方、お気軽にお越しください。(1回30分・要予約)

日時 2017年
2/8(水)、3/8(水)
18時～20時
会場 浜松市市民協働センター

NPO相談会

設立相談・運営相談・会計相談・助成金相談などお仕事帰りにお気軽に。(予約優先)

日時 毎月第2・4金曜日 19時～21時
会場 浜松市市民協働センター

【お問合せ・お申込み】

浜松市市民協働センター
TEL: 053-457-2616



NPO関連 ニュース

改正NPO法(特定非営利活動促進法)の施行は平成29年4月1日です。

改正のポイント

【全てのNPOに関わる変更点】

- ・事業報告書等の備置期間が約5年間に延長。
- ・認証申請時等の添付書類の縦覧期間が1か月に短縮。
- ・内閣府NPO法人ポータルサイトにおける情報提供の拡大。
- ・貸借対照表の公告が必要に。

【認定・仮認定法人に関わる変更点】

- ・役員報酬規程等の備置期間が約5年間に延長。
- ・海外送金等に関する書類が事後提出に。
- ・仮認定NPO法人の名称が「仮」から「特例認定」に変更。

改正ポイントの詳細は、内閣府NPOホームページに掲載されている『特定非営利活動促進法改正のご案内』をご覧ください。

※改正法の一部は、公布の日から、もしくは公布の日から起算して2年6か月を超えない範囲内において政令で定める日から施行されます。

内閣府NPOホームページ
<https://www.npo-homepage.go.jp/>

NPO関連 ニュース

活動資金助成情報

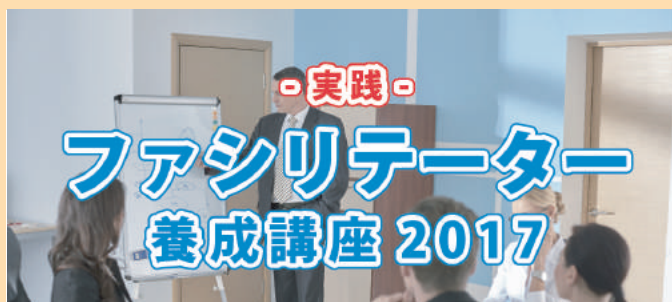
名称	分野	実施団体	申込締切
学生対象の人材育成活動への助成事業	人材育成	(公財)電通育英会	1月13日
みんなのはままつ創造プロジェクト	まちづくり	浜松市	1月13日
地域力向上事業	まちづくり	浜松市	1月(各区による)
地球環境基金助成金	環境保全	(独行)環境再生保全機構	1月16日
LOVE BLUE 助成	環境保全	(独行)環境再生保全機構	1月16日
地域の伝統文化保存維持費用助成	地域・文化	(公財)明治安田クオリティオブライフ文化財団	1月31日
まちづくり活動助成金	まちづくり	(一財)浜松まちづくり公社	2月10日
中山間地域コミュニティビジネス等起業資金貸与事業	まちづくり	浜松市	2月10日
地域ささえあい助成	まちづくり	CO・OP共済	3月5日

センター主催講座・イベントのお知らせ

詳細やお申込は、センターのホームページをご確認ください。



QRコードを読み取るとセンターのホームページにアクセスできます。



意見を引き出す！互いの理解を促す！意見をまとめる！
その力を身に付けてみませんか？

日時 2017年2月12日（日） 定員 20名（先着順）
13：30～16：30
会場 浜松市市民協働センター 参加費 無料

プログラム

「ファシリテーターとは？」

ファシリテーションとは何か。
求められる技術や心得とは何か。
ファシリテーターの基礎について学ぶ。

「ファシリテーション実践演習」

座学で学んだ知識を活かし、
グループワークショップで実践。
ファシリテーションの技術を身に付ける。

講師
山内秀彦 氏

株式会社東海まちづくり研究所代表取締役
NPO法人地域づくりサポートネット代表理事



中山間地域シンポジウム2017 未来につなげる地域づくり



浜松市域の約65%を占める中山間地域。そこで活躍する「若者」にスポットを当て、浜松の未来につなげる地域づくりを考えます！

日時 2017年3月18日（土） 定員 80名
13：00～17：00
会場 浜松市市民協働センター 参加費 無料

プログラム

基調講演

田舎と都会をつなぐ
～若者の可能性と地域での役割～



基調講演講師
佐々倉玲於 氏
一般社団法人いなかパイプ代表理事
地域活性化伝道師（内閣府認定）

パネルディスカッション

次世代を巻き込む地域づくり

ポスターセッション

中山間地域で活躍するNPOが集結！

★同時開催★

山らいか！合宿

浜松の中山間地域を元気にしたいと思う若者よ、集まれ！
同じ思いを持つ仲間と地域活性化プランを作成。

日時：2017年3月18日 19時～翌日 17時
会場：浜松市立青少年の家
対象：概ね40歳以下
参加費：2,500円
（宿泊費、朝食費込）

問合せ・申込み | 浜松市市民協働センター

☎ 053 - 457 - 2616 (9:00～21:30)

センターへ
ようこそ！

市民協働センターの図書コーナー

センター2階「アトリエ」にある図書コーナーには、NPO向けの参考図書が多数あります。NPO法人の設立を考えている方、運営をしている方、事業を拡大させたい方など、ぜひご利用ください！

～オススメ図書～

NPO入門編

よくわかる
NPO法人の設立実務

（中井博文著、同文館出版、2006年）



NPOの立ち上げに必要な実務、ノウハウのすべてがわかります！豊富な図表で分かりやすく解説されています。

NPO実践編

リーダーのあなたに贈る
実践！NPOマネジメント

（田中尚輝著、子ども劇場全国センター出版局、2006年）



NPOを運営していると様々な問題に直面します。そのような問題に、明日からでも使える具体的な解決方法が満載です。

企業向け

CSRに効く！
企業&NPO協働のコツ

（岸田真代編、風媒社、2007年）



NPOと協働して実施した企業CSRの事例が紹介されており、CSRの参考書に最適です！



センター2階
「アトリエコーナー」



図書の貸出しも行っています。貸出し期間は2週間です。どなたでも借りることができます。本を借りる際は、1階受付までお越しください。

どなたでも自由にご利用できます。（最大8名）
Wi-Fiあり。飲食可。（ゴミはお持ち帰りください）

発行 浜松市市民協働センター

〒430-0929 浜松市中区中央1丁目13-3

TEL 053-457-2616 / FAX 053-457-2617